



水戸市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略

若い世代が生き生きと暮らせる 持続的に成長するまち 水戸



Mito City

策定の 背景



水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

全国的に人口減少社会の到来、少子・高齢化の進行等が問題になっています。急激な人口の減少は、労働力の低下や消費需要の縮小など、経済面に大きな影響を与えるとともに、市民生活の分野においても、地域コミュニティの活力低下につながるなど、様々な問題が懸念されます。

本市においても、将来的な人口の減少が避けられない中、自主・自立したまちづくりを進めていくため、そして、県都として、水戸都市圏のリーダーとしての役割を果たしていくため、地方創生に向けた取組を重点的に推進していかなければなりません。

そのため、選ばれる魅力あるまちの構築に向け、本市の人口の現状と将来展望を示す「水戸市人口ビジョン」と、その将来展望を具現化する計画となる「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することとしたものです。

I 水戸市人口ビジョン



○ 人口の将来展望

将来人口設定の考え方

本市の人口の現状や課題及び人口推計に関する分析・考察に基づき、実効性のある施策を推進することを前提とするとともに、国や県のビジョンを踏まえながら、将来人口を設定します。



将来人口

国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した人口推計では、2060(平成72)年に、本市の人口は、約20万4千人にまで減少することが見込まれますが、人口減少に歯止めをかけ、活力あるまちを維持するため、合計特殊出生率の向上や人口流入の維持、人口流出の抑制等に取り組むことにより、本市の2060(平成72)年における人口の目標を24万5千人と設定します。

目標

2060(平成72)年
245,000人

II 水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略

○ 戦略の基本事項

戦略の期間 2015(平成27)年度～2019(平成31)年度までの5か年

策定の趣旨

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、将来的な人口減少が避けられない中、自主・自立したまちづくりを進めていくため、歴史と伝統、芸術・文化、豊かな自然など、水戸ならではの個性と魅力を高め、にぎわいと交流を創出しながら、訪れてみたい、住んでみたいと思われるような、選ばれる魅力あるまちの構築に向け、実効性のある施策を積極的かつ集中的に推進していくため、策定するものです。

戦略の方向

目指す姿

水戸市第6次総合計画 一みと魁^{さきがけ}プランーを基本とし、水戸に住む全ての市民が安心して暮らし、幸せを感じられるまちとしていくため、まち全体のけん引役となる若い世代が生き生きと活動し、暮らしていけるまち、そして、その活力が水戸市全体の成長や発展につながっていくまち、

「若い世代が生き生きと暮らせる 持続的に成長するまち 水戸」を目指します。

基本目標

基本目標 I

生き生きと働ける しごとを創る

産業競争力の強化や観光産業の振興等によって、地域経済の活性化を図り、安心して働ける多様な雇用の場を創出していくとともに、安定的な経済活動につなげていくことを目指します。

基本目標 II

新たなひとの流れを 生み出す

移住希望者へのきめ細かな支援等を推進し、若い世代の定住化を図るとともに、本市の文化や資源を最大限に活用し、観光交流人口を増加させることにより、ひいては定住人口の増加へつなげていくことを目指します。

基本目標 III

水戸の未来をリードする若い 世代の夢や希望を応援する

若い世代が安心して働けるよう雇用の場を創出するとともに、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援や質の高い教育の展開、ワーク・ライフ・バランスの確保に取り組むことにより、夫婦が希望する出産・子育て環境を提供し、少子化の歯止めにつなげていくことを目指します。

基本目標 IV

安全で安心、誰もが快適に 暮らせるまちを創る

時代の変化に対応できる都市構造や交通ネットワークを構築するほか、市民一人一人が安全に安心して暮らせる環境づくりを推進するとともに、本市の都市力の向上を図ることにより、市民が誇れるまちとして、まち全体の活性化につなげていくことを目指します。

数値目標

項 目		基 準 値 (2014(平成26)年度)	目 標 値 (2019(平成31)年度)
基本目標 I	市内事業所数	14,357事業所(2014年)	14,550事業所(2019年)
	市民所得	999,984百万円(2012年度)	1,080,000百万円
基本目標 II	社会増(人口動態)	88人(2014年)	600人(2019年)
	観光交流人口	3,426,000人(2014年)	4,090,000人(2019年)
基本目標 III	合計特殊出生率	1.51(2014年)	1.60
	保育所待機児童数	158人(2014年4月1日現在)	待機児童ゼロ(2017年度)
基本目標 IV	生活環境の満足度	73.5%(2012年)	78%

水戸のまち創生 リーディング プログラム

<テーマ> 若い世代が多様に働ける場、活動できる場の創出

「若い世代」を引き付け、呼び込む、魅力ある希望の持てるまちを目指し、多様化するライフスタイルや価値観に応じて働くことができる、活動することができる環境づくりを優先的かつ重点的に推進します。

目指す姿

若い世代が生き生きと暮らせる 持続的に成長するまち 水戸

基本目標

I

生き生きと働ける
しごとを創る

II

新たなひとの流れを
生み出す

III

水戸の未来をリードする若い
世代の夢や希望を応援する

IV

安全で安心、誰もが快適に
暮らせるまちを創る

具体的施策

① 地域経済をけん引する産業競争力の強化

② 観光産業の振興、観光消費の拡大

③ 多様な雇用の場の創出

④ 女性や高齢者等の活躍支援

① 水戸への移住・定住の推進

② 芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出

③ 水戸らしい風格ある歴史まちづくりの推進

④ 水と緑の潤いある拠点の形成

① 若い世代へのキャリア支援の推進

② 安心して子どもを生み育てることのできる環境の充実

③ 未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進

④ ワーク・ライフ・バランスの推進

① 都市機能の集積と交通ネットワークの形成

② 既存ストック(住宅等)の再生、利活用

③ 住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりの推進

④ 危機対応力・防災力の高い体制づくりの推進

⑤ 自主・自立性の強化と広域連携による都市力向上